

候補者の基準は、次に定める方法で求められる成績が判明している直近 2 年間の学業成績係数が 2.50 以上であり、奨学金支給期間中においてもそれを維持する見込みがある者とする。

[1]学業成績は正規課程の成績のみを用い、研究生や日本語学校などの成績を含めないこと。

[2]学業成績係数は学年毎で算出し、年度途中の場合はその成績を含めないこと。ただし、セメスタ一制度を採用しており、前期の成績が判明している場合は、その成績が判明している直近 2 年間（例：2012 年前期～2010 年後期）の学業成績係数を算出すること。

[3]係数の算出ができない場合は、算出できない理由及び学業成績係数が 2.50 以上に相当すると判断した具体的かつ客観的根拠を申請書ファイルにある「学業成績係数が算出出来ない理由」シートに記載すること。単に「優秀な学生であるため」といった漠然とした記載は不採用とする。

[4]複数の大学等の成績により算出する場合は、算出基準を合わせること。

[5]条件を満たさない者の推薦は受け付けない。

〔学業成績係数の算出方法〕

区分	成績評価				
4 段階評価		優	良	可	不可
4 段階評価		A	B	C	F
4 段階評価		100～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点～
5 段階評価	S	A	B	C	F
5 段階評価	A	B	C	D	F
5 段階評価	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点～
評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）

$\{(\text{「評価ポイント 3 の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント 2 の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント 1 の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント 0 の単位数」} \times 0)\} \div \text{総登録単位数}$

（注 1）履修した授業について単位制をとらない場合は、単位数を科目数に置き換えて算出すること。

（注 2）編入学している場合は、編入学後の単位数を対象とすること。ただし、編入学前の成績評価（現大学の直前に在籍していた学校における成績）についても同様に学業成績係数を算出し、その在籍期間及び学校種を併せて推薦者一覧の備考欄に記載すること。

（注 3）上表の成績評価にない評価（例えば、「認定」、「合格」など）は対象としないこと。

（注 4）学業成績係数に端数が出る場合は、小数点第 3 位以下を切り捨てること。

（注 5）現在在籍している大学の学業成績が 2 年に満たない場合かつ学業成績を半期毎で判定している場合で、それ以前に在籍していた大学が学業成績を学年毎で算出しているため 1 年未満の端数が生じる場合は、直近 2.5 年間の成績により学業成績係数を算出する。